



全国建築測量協会（札幌理事長）は3日、大阪市住吉区の関西研修センター（KKC）で「第3回建築測量技能者試験」を実施した。建築工事に必要な墨出し作業を担う技能者向けに創設した資格で、東京以外で試験が行われるのは初めて。1級

## 全国建築測量協会 1・2級技能者試験

（学科・実技）と2級（学科）を合わせて約60人が難関試験に臨んだ。第2回に続き非会員にも受験対象を広げた。

測量業と建設業の間に立つ墨出し業界は職人の技量を評価する基準がなく、キャリア形成を後押ししようと協会独自の資格を創設。2022年3月に1回

（学科・実技）と2級（学科）を合わせて約60人が難関試験に臨んだ。第2回に続き非会員にも受験対象を広げた。

測量業と建設業の間に立つ墨出し業界は職人の技量を評価する基準がなく、キャリア形成を後押ししようと協会独自の資格を創設。2022年3月に1回

ンブルから無償提供されたトールステーションを使い、50分の持ち時間で指定箇所の座標実測を行う。

今回の受験者は1級の学科が36人、実技が30人、2級の学科が20人。建設キャリアアップシステム（CCUS）の能力評価で2級はレベル2（ブルー）、

### 職種ブランド化へ

目の試験を実施した。受験資格は1級が建築測量の実務経験が7年以上あり、職長か班長として1年以上の経験を持つ技能者。2級は実務経験3年以上を対象にする。

1級・2級の学科試験は「考え方・進め方建築墨出し」（オーム社）の記述から出題し、1級の实技試験ではニコン・トリ

技能者を目指す。建築測量は21年10月に登録技能者講習の職種に追加され、同協会はCCUSの職

試験に立ち会った札幌理事長は「地位向上と知名度を上げるために引き続き努力していく。建築測量という職種をブランド化したい目標がある」と話し、三谷英暁副理事長は「資格をり、CCUSのレベルが上がれば、給与が増える動きが出ていく。それが担い手の確保につながる。会員数も増やしたい」と期待した。



札幌理事長

過去2回の試験で1級は1人、2級は45人が合格していた。